

特集

★スポーツ少年団と連携しているクラブ★

しわひめスポーツクラブ 宮城県栗原市

総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのためには、スポーツ少年団をはじめとする地域のスポーツ団体等との相互扶助の関係を築き、地域社会からの信頼性を確保し、地域に根ざす団体となる必要があります。そこで今回は、スポーツ少年団と連携・協働し、地域におけるスポーツ推進体制を高めているクラブを紹介します。

1

クラブ概要

宮城県内9番目の総合型クラブとして誕生 小学生からファミリー層まで幅広い年代が活動中

しわひめスポーツクラブのある宮城県栗原市志波姫地区は、町の3分の2が水田に囲まれた農村地帯。行政施設を中心とした1km圏内に、保育所、幼稚園、小学校1校、中学校1校があり、人口6,500人ほどの地域で、地区の中央を南北に東北新幹線が走り、東北新幹線「くりこま高原駅」があります。

そのような環境のなか、平成16(2004)年3月に、志波姫町体育協会、スポーツ少年団、中学校運動部活動、スポーツ愛好団体が母体となり宮城県内9番目の総合型クラブとして設立しました。

会員は、スポーツ少年団8団体、中学校運動部活動6団体、一般12団体、ファミリー2家族、個人53名で、ほとんどが団体会員で構成されており、中学生以下229名、高校生以上263名の合計492名です。

スタッフは、会長1名、副会長3名、監事2名、運営委員12名、クラブマネージャー1名で構成されており、スポーツセミナー17種目、スポーツ教室18種目、各種イベントや大会、スポーツ講習会などの活動プログラムを開催しています。

また活動拠点としては、志波姫小学校体育施設(体育館、校庭)、志波姫中学校体育施設(体育館、武道館、校庭、テニスコート)、当クラブが指定管理を行っている志波姫公民館(アリーナ、会議室)を使用しています。



毎年、指導者・保護者を対象に開催する「スポーツ講習会」



多世代にわたり、志波姫地区外からも多く参加している「卓球教室」

2

イコール **スポーツ少年団活動＝クラブ活動** **クラブ登録団体の活動を支援**

クラブ設立時の話し合いのなかで、スポーツ少年団および中学校部活動も一緒に取り込んで活動していくとしたことにより、設立時から8単位団（現在は10単位団）がしわひめスポーツクラブに加入しています（志波姫町スポーツ少年団本部は平成17（2005）年の市町村合併と同時に解散したため、現在は栗原市スポーツ少年団本部に、この10単位団がそれぞれ登録中）。

クラブ事業のスポーツ教室は、加入している団体が主催することとしており、各スポーツ少年団単位団も主催者となり活動しています。また、市から委託されているスポーツセミナーの講師も各単位団等の指導者にお願いしています。

クラブに加入しているスポーツ少年団の運営は各単位団で行っておりクラブと別になっていますが、スポーツ少年団活動＝イコールクラブの活動として位置づけており、スポーツ少年団単位団を含むクラブ登録団体には、毎年、活動に使用するスポーツ用品の支給、クラブ所有のワゴン車無料貸出、活動場所の借用申請や会場使用料の助成および保険加入手続きの代行などの支援を行っています。窓口を訪れたスポーツ少年団の保護者や指導者から「負担を軽減することができ助かっている」と、うれしい言葉をいただいております。

また、しわひめスポーツクラブ全会員の交流イベントの開催やスポーツ少年団加入者の小学生のみを対象として開講式、閉講式を開催しています。開講式では団員の紹介や誓いの言葉を述べ、閉講式では団員全員への修了証の授与、小学6年生団員へメダルの贈呈、代表者の感謝の言葉を伝えています。なお、閉講式には中学校の校長に出席を求め、中学校への引き継ぎをしています。



＜スポーツ少年団開講式＞
活動する全種目の団員・指導者が集まり、1年間の活動の誓いをします



＜スポーツ少年団閉講式＞
6年生団員にはライオンズクラブより種目ごとのメダルが授与されます

部活動の地域移行の受け皿として **子どもたちが長く活動できる環境をつくる**

しわひめスポーツクラブは、スポーツ少年団の活動をクラブのスポーツ教室に位置づけており、そのなかには、団員の小学生だけでなく中学生、高校生も対象とした教室もあります。そのため、継続して活動続ける中学生、高校生も数多くスポーツ少年団に加入しております。

また、市内でスポーツ少年団および中学校運動部活動を取り込んでいるクラブは当地区のみのため、栗原市内の他地区からスポーツ少年団に加入している児童・生徒も多く、少子化の中でも、

各団体が活発に活動できています。さらに、志波姫中学校と休日の運動部活動地域移行の協定を締結し、中学校運動部活動にクラブの指導者を派遣しています。

[参考:学校運動部活動と連携するクラブ しわひめスポーツクラブ\(第153号 令和2年11月20日発行\)](#)

3

会員間の交流だけでなく、 会員以外も参加できるイベントで 地域の活性化につなげる

さらに、小学生、中学生、高校生と大人と一緒に活動している種目や、会員、保護者、指導者が参加する交流イベントの開催など、多種目多世代で交流ができており、スポーツ少年団と総合型クラブが連携することで地域の活性化にもつながっていると思います。

交流イベントは、非会員の方々にも参加していただき、当クラブへの理解促進とスポーツの楽しさを知る機会を提供する「カリヨンフェスティバル」や、いも煮会、プロ野球観戦など、誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションを通じて、参加者同士の親睦と交流を深めることを目的に開催しています。

この会員以外も参加できる交流イベント「カリヨンフェスティバル」は、今年21回目を開催いたしました。遊び感覚で体を動かす楽しさを味わえる「チャレンジ・ザ・ゲーム」や、身近にあるものを使ってさまざまな遊びの記録に挑戦する「チャレンジ・ランキング」で、仲間と楽しく交流しながら記録に挑戦。複数の種目を同時進行し、お祭りの屋台のように種目コーナーを設け、参加者は各種目コーナーを自由に回り、挑戦した種目の記録がポイントとなります。上位入賞者には記念品を贈呈。さらには、自転車が当たるお楽しみ抽選会や焼き鳥やフランクフルトなどを提供しています。

会員以外の方が半数を超えるほど参加していただき、準備していた物を急ぎょ追加するなどうれしい悲鳴を上げました。参加者からは、「とても楽しかった。また、来年絶対参加します」などの声が聞かれました。



<会員交流イベント>
未就学児から高齢者まで、いろいろなゲームにチャレンジし交流しています



小学生から一般まで交流試合などを行う「新春バレーボール祭」

4

クラブの今後の展望

子どもたちだけでなく幅広い世代が 安心してスポーツに取り組める環境づくりをめざして

今後、スポーツ少年団活動だけでなく中学校部活動の地域移行が進むにつれ、受け皿として総合型クラブの役割は重要になってくると思います。

現在、志波姫中学校だけでなく他地区からの生徒も受け入れて地域クラブとして活動しています。他地区の取り組みが進んでいないことから、受け皿として積極的に生徒の受け入れを実施していくこととしております。

少子化も進み、会員の減少も予想されることから、志波姫地区だけでなく、他地区からの加入促進、また、会員数が少ない青年層の加入促進に努めてまいりたいと考えています。

そのためにも、栗原市教育委員会やNPO法人栗原市スポーツ協会と連携し、施設・設備の充実や指導者の研修による資質向上を図るなど、子どもたちやスポーツ愛好者が安心して親しめる環境を整えていくことが重要であります。

また、現在活動拠点となっている志波姫公民館の指定管理を継続し、安定した財源確保を図り充実した事業を展開していけるよう努めていきたいと思っています。

しわひめスポーツクラブ クラブマネジャー 佐藤知香

クラブプロフィール

設立年月日 平成16(2004)年3月21日

所在地 宮城県栗原市志波姫沼崎南沖447 栗原市志波姫公民館内

運営 会員数:492名(令和7年1月現在)、予算規模:16,000,000円(令和6年度)

特徴 しわひめスポーツクラブは、設立当初から既存団体である、スポーツ少年団、中学校運動部活動、旧志波姫町体育協会、スポーツ愛好会が総合型に理解を示しクラブに加入しています。既存団体の活動を各種スポーツ教室として位置づけているのが特徴です。

連絡先 〒989-5615 住所:宮城県栗原市志波姫沼崎南沖447 栗原市志波姫公民館内
TEL:0228-25-3231 FAX:0228-25-3236
E-mail: shiwahime-sportsclub@seagreen.ocn.ne.jp